

ノリ養殖情報（第19報）

令和8年2月27日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今年度の調査は、10月中旬から3月下旬までの期間に、陸上調査を17回、海上調査を6回の合計23回予定しています。
- 今回の調査は【陸上】調査です。

1. 調査結果

調査日：2月22日(日) 天候：晴れ 気温：10.4℃(3:50時点)

(今回(2/22)の水温等の測定時間帯 3:55~6:10)

(前回(2/16)の水温等の測定時間帯 2:10~4:50)

調査点		水温 ℃		比重 σ ₁₅	栄養塩：無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 2月16日		今回	今回		前回 2月16日	今回
1. 神代	支柱	10.2	9.4	23.0	1.6	23.6	4.8	++	なし
2. 仲よし下	支柱	11.1	9.5	22.6	10.1	3.1	33.1	++	なし
3. 半田	支柱	10.9	9.5	23.1	5.8	4.3	10.6	+	なし
4. 三会	支柱	10.6	9.2	22.7	1.1	3.7	23.6	++	なし

※ 栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

※ アカ、ツボ：なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

●主な植物プランクトン（単位：細胞/mL）

植物プランクトン (優占種)	大型珪藻			小型珪藻		
	ユーカンピア属	リゾソレニア属	コンノディスカス属	キートセロス属	スケイトネマ属	ナビキュラ属
1. 神代		14		8		
2. 仲よし下				20		
3. 半田				19		
4. 三会				15		

●調査結果概要

- ・水温は、10.2℃～11.1℃。海水比重(σ₁₅)は、22.6～23.1。
- ・漁場に設置している温度計の2月16日から2月21日までの測定結果は、平均温度は9.1～11.7℃で、昨年より1.4～2.7℃高く推移しました。
- ・栄養塩は、1.1～10.1 μg-at/Lで、4調査点中1点でノリ養殖における期待値7.0 μg-at/Lを上回りました。
- ・クロロフィル量が高い状態が続いています。植物プランクトンはケイ藻類(主にリゾソレニア属やキートセロス属)が優占しています。
- ・あかぐされ病は4漁場中4漁場(目視レベル3漁場・検鏡レベル1漁場)で確認されました。壺状菌病は確認されませんでした。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県:珪藻類(スケルトネマ属・キートセロス属) 最高5,600・3,660細胞/ml (1月30日～)
- 福岡県:珪藻類(スケルトネマ属・キートセロス属) 最高2,890・1,360細胞/ml (2月2日～)
- 熊本県:珪藻類(スケルトネマ属やユーカンピア属) 最高3,200細胞/ml (2月24日～)

3. 他県の情報

- 佐賀県:東中部では、アカが10点中9点で確認されました。
ツボは確認されませんでした。
色落ちは、全地点(色落ちレベル2.5～4)で確認されました。(2月20日)
- 福岡県:現在、冷凍網の5回目の摘採が行われています。
色落ちは17調査点で確認され、軽度が1点、中度が3点、重度が13点でした。
アカは10調査点で確認され、軽度が4点、中度が2点、重度が4点でした。
ツボは確認されませんでした。(2月24日)
- 熊本県:色落ちが全域で見られます。
アカが全域に蔓延しています。ツボは未確認でした。
珪藻プランクトンは依然として多い状況が続いています。(2月26日)

4. 本県の情報

- 現在、摘採作業・一部撤去作業が行われています。
- 色落ちは全域で見られました(軽度:神代・仲よし下・半田・三会)。
- ノリ網の検鏡結果
あかぐされ病(目視レベル:神代・仲よし下・三会、検鏡レベル:半田)が確認されました。
ツボの感染は確認されませんでした。
付着物は、珪藻(タビュラリア、リクモフォラ、メロシラ)が見られました。
- 病害のまん延を防ぐために生育管理に努めてください。